

[目 次]

2000・7

ページ

SKYLIGHT 〈今月の焦点〉	重力波放出の反作用による不安定性の再燃	小 畠 康 史 350
EUREKA 〈研究紹介〉	大質量星の近傍にある分子雲と星形成 ～ HII 領域が星形成に与える影響を定量的に調べる～	山 口 玲 子 354
	CCS の回転遷移輝線のゼーマン効果による 高密度分子雲コアの磁場観測	新 永 浩 子 361
天球儀 〈読物〉	民衆の星のことは、歌	北 尾 浩 一 369
ASTRO NEWS	激変星の研究 — 矮新星爆発メカニズム —	尾 崎 洋 二 375
雑報	「夏の学校」のお知らせ	389
シリーズ	《海外研究室事情 (7)》 Dept. of Astronomy & Astrophysics, The Pennsylvania State University 米国ペンシルバニア州立大学 天文及び天体物理学科	390
雑報	天文学会春季年会・ジュニアセッション報告	392
	天文学会春季年会・天文教育フォーラム報告	394
	SPIE 2000 参加報告 大望遠鏡の世紀の到来	396
	日本天文学会 早川幸男基金による 渡航報告書	398
寄贈図書		400
月報だより		400

[表 紙 説 明]

図 1 a (中) 大質量星近傍における星形成のモデル。理論的には、大質量星が形成する HII 領域によって分子雲が圧縮され、質量の大きい星が形成されると考えられてきました。

図 1 b (上) 大質量星形成領域の光学写真。赤く光っている部分が HII 領域、黒く見える部分が分子雲の存在を示しています。

図 2 (下) 大質量星の近傍にある分子雲と星形成。HII 領域に面した部分 (HII 領域側) で、質量の大きい星が多数生まれていることが明らかになってきました。
(EUREKA 参照)

(表紙デザイン：三宅洋子)